

2014年9月6日（土）  
三国山・パノラマ台（山中湖湖畔）  
レポート by 熊本（写真：高橋雄、熊本）

今回は、アザミの中でも最も大きなフジアザミの群生が目的で山中湖畔の籠坂峠～パノラマ台コースのハイクの企画で、一年ぶり参加の竹内さんと白井さん、布目さん、高橋雄さん、熊本の5名の参加である。



集合地の御殿場まで、雄さんは新宿西口からのバス、熊本は東京駅から 6:30 発の河口湖行のバスで、竹内さん、布目さんは小田急電車で、白井さんは JR で、国府津経由で各々が御殿場駅に向かった。



東京駅からのバスはトイレ付でほぼ満席であった。（¥1650-）



雄さん、熊本は御殿場に 8:15 に到着。電車組は 8:40 に到着

御殿場駅の構内には大きな「大わらじ」が飾ってあった。「籠に乗る人、担ぐ人、そのまたわらじを作る人」とあり、昔、御殿場の各村では「わらじ」が大切な現金収入の手段だったそうだ。



9:00 御殿場発の河口湖行のバスに乗り、籠坂峠に向かう。バスはほぼ満席であったが、運よく我々は全員、後部シートに座れた。(¥910-)



5分遅れの9:50に籠坂峠に到着。バス停の近くに三国山へのハイキングコースの標識があったが、割れて落ちていた。

ここでスタートの集合写真を撮る。



各々、ストレッチ体操で準備万端。



墓地公園まで約5分、舗装道路を登ると、三国山への登山口があった。



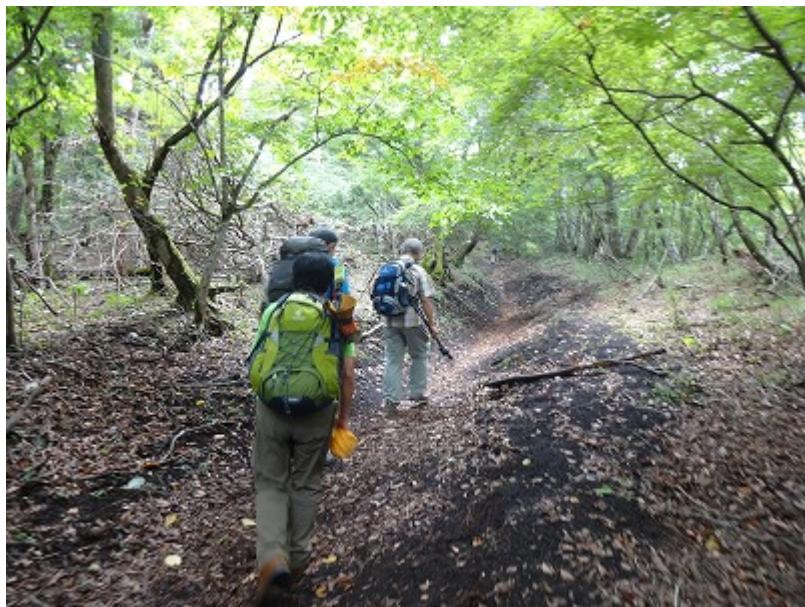
登山口近くに駐車していた車のナンバープレートを見ると、なんと、「富士山 3776」とあり、貴重なプレートだった。



鹿除けのゲートを入り、いよいよ三国山・パノラマ台に向けて歩行開始。  
(10:01)



先頭は雄さんで、水先案内人の様に数メートル先に歩く。  
後を竹内さん、白井さん、布目さん、熊本の順で歩き始めたが、少し振りの竹内さんは足が重そうだ。



溶岩砂礫の挟れた登山道は、少々粗目の砂地を歩いているようだった。



今日は風がなく蒸し暑く、歩き始めてすぐ大汗をかく。  
25分歩いたところで、一枚脱ぐ。



所々に倒木が道を遮る。



アザミ平に到着前に、涸れかけたアザミがあつたが、小さくこれは「フジアザミ」ではないだろう。



歩き始めて 40 分、10:40 にアザミ平に到着。

しかし、周囲にはアザミの花は全く見当たらない。



アザミ平を歩くが、アザミの花だけでなく、葉の姿もない。代りにタカネナデシコが咲いていた。



まだ、硬い蕾のアジサイを発見。  
恐らくこれが「フジアザミ」だろうか？  
我々の訪問が早すぎたのかもしれない。



アザミ平から本日コースの最高標高点の大洞山（1383m）に向かう。



相変わらず、竹内さんは登りになるとペースが極端に落ち、調子が悪そうだ。



この辺りは湿度が高いのか大木は苔むしている。



このコースはブナの原生林で、ガスが濃くなってきた。



ブナの根は水平に這っていて、地中浅く、更に砂状の溶岩砂礫のため、少々の風で倒れてしまうらしく、其処にブナの倒木が見られた。



11:30 大洞山頂（1383m）に到着する。

左：カメラをセットする雄さん



大洞山から檜木山（1353m）を経由し、三国山に向かう。



竹内さんを先頭に緩やかな登りに行く。登山道の周囲はクマ笹になってきた。



途中に案内版が壊れて置いてあり、誰も気が付かなかったが、どうやらこの現在地が、檜木山（1353m）山頂だったのかもしれなかった。

更に 10 分程歩いて、ズナ坂峠近くで、昼食を取った。



キノコで覆われている



鹿が樹皮を食べた檜の木。  
ブナの木には鹿が食べたあとは無かった。



13:14 三国山（1320m）に到着。  
ガスも濃くなり視界も悪くなつたため、鉄砲木の頭はパスし、パノラマ台へ直接下ることにした。



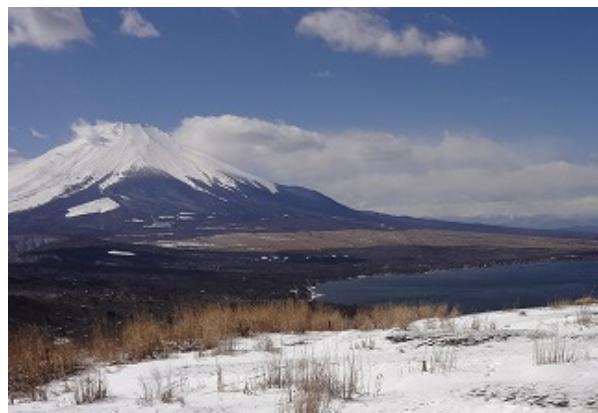
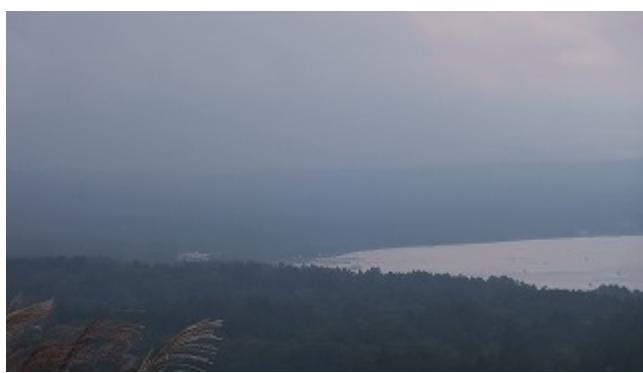
パノラマ台へは急な下りだった。



13:50 山中湖が見えてきた。  
ススキが綺麗だった。



14:00 パノラマ台に到着。  
布目さんが持ってきたカステラが甘く美味しかった。



右：パノラマ台から山中湖で、雲で富士山は見えない。左：2012年2月18日ほぼ同じ場所からの写真  
以下の写真は今回のコースで出会った草花





パノラマ台入口バス停から、  
14:46 を 5 分遅れた富士山駅行の「ふじっ  
こバス」で「紅富士の湯」へ。  
15:20 に到着。



約二時間、ユックリ入浴・休憩する。  
竹内さんもヤット元気を取り戻し、  
竹内節が復活し一安心。



18:17 のバスで富士山駅へ



富士山駅で約 30 分の待ち合わせ時間があり、ご当地名物の「吉田うどん」を食べる。  
うどんの腰が非常に強かった。

富士山特急と、大月であずさ 30 号に乗り継ぎ帰路に着きました。

今回は目的の富士山、フジアザミは見られませんでしたが、終日、ブナ原生林で森林浴と竹内さんと久し振りの再会で楽しい一日でした。